

住まい

スタイリッシュな

こだわりのインテリアで美しく暮す

第5回

ずっと憧れている暮らし。海外セレブのような家に住みたいという思い。LAのインテリアデザイン事務所でキャリアを積んだインテリアデザイナーが、洗練された住まいのスタイリングを提案します。

インテリアは、見た目と使い心地の両面を
考えて選びましょう

インテリアカラーは、壁面やファブリックだけではなく、照明を変えただけでもかなりの影響があります。例えば、青白い色の照明を使用すると、気分も暗くなってしまうですし、部屋の

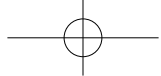
インテリアが、人の心に大きく影響を与えることがあります。中でも色彩とインテリアには深い関わりがあります。インテリアカラーは服などとは違い、毎日目に入るもので、何度も変えるものではありません。色の影響力は、私たちが考えているよりも強く、人の精神、意識、感情に関わってきます。つまり色を上手く使うことでとても心地良い空間を生み出すことができるのです。

インテリアの色彩と心理

インテリアデザイナー Mayumi Nishijima

世界屈指のインテリアデザイン事務所 @ Los Angeles にてホテルデザインに携わる。Barry Design Associates に在籍、世界各国の5ツ★ホテルを手掛ける。その後、総合商社にてインテリアデザイナーとして勤務後、専門学校にてインテリアデザイン科の設立からカリキュラムの構築及び専任教師へ。多数のインテリアコーディネーターの卵を送り出す。丸の内にてOpenした五つ星ホテル、Shangri-La Hotelのホテルプロジェクトに参加。現在はフリーランスインテリアデザイナーとして個人邸、サロンなどを手掛ける。





RULE INTERIOR DESIGN

ルール インテリア デザイン

インテリアデザイン・リフォーム
施工・オリジナル家具

www.ruleinterior.com



写真上：ブラウンとオレンジのコーディネートは、温かみを感じさせてくれます。オレンジには、人脈を広げるパワーがあります。
写真左：ブルーとページュは、とても相性が良いコーディネートです。洋服のボーダーTシャツにも、ブルーと茶系という組み合わせは多くありますよね。ブルーには、精神を落ち着せ、安静感を与えてくれる効果があります。

心地よい空間で、癒されるマンションの部屋作りを



写真上：ナチュラルカラー中心のマンションのお部屋。イメージするだけでリラックスモードになります。ゆったりと過ごせるお部屋が理想ですね。

機能性と使い心地を考える

インテリアもばやけてしまします。黄色系の照明を使用すれば、部屋のインテリアがより美しくなり、居心地の良い暖かい雰囲気を作ることが出来ます。

インテリアは見た目だけでなく、使い心地の良さも大切です。使い心地が良くなければ理想的な暮らしの実現にはなりません。しかし、設計や購入する時点でインテリアの機能性を予測することは、困難です。実際に使われている建物やショールームを見学して、人の動きや使い勝手までをよく観察して見るのが良いでしょう。特に、キッチンやダイニングなど作業をすることの多い空間は、動線がとても大切なポイントになります。さまざまなレイアウトを検討し、機能性アップを図るよう工夫しましょう。

近年は、内装材においても、技術の向上によって色々な機能が付加された製品が開発されています。ここでは代表的な内装材の機能をいくつかご紹介いたします。

- ホルムアルデヒド分解/消臭
シックハウス症候群の原因の一つと考えられている室内空気中のホルムアルデヒドを低減、または、消臭します。
- 防災認定品
燃えにくさを目的とし、消防法施行規則に基づく防火性能試験に合格しているもの。
- 消臭
紫外線が当たること、タバコ、汗、ペット臭などの日常の不快感を分解します。
- 抗菌
紫外線が当たること、生地上に細菌が繁殖するのを抑制します。
- UVカット
カーテンや窓周辺のマテリアル等で有害な紫外線の透過を抑制します。
- 遮光
カーテンなどに使われる布地において、遮光をシャットアウトする性能で遮光率により等級が分かれています。

インテリアコーディネートには知識、センスなども必要ですが、一番大事なのは居心地良く、自分の好きなインテリアを楽しむ空間を作ることです。